

令和8年度

河川維持修繕事業

戸石川河川浚渫工事

仕様書

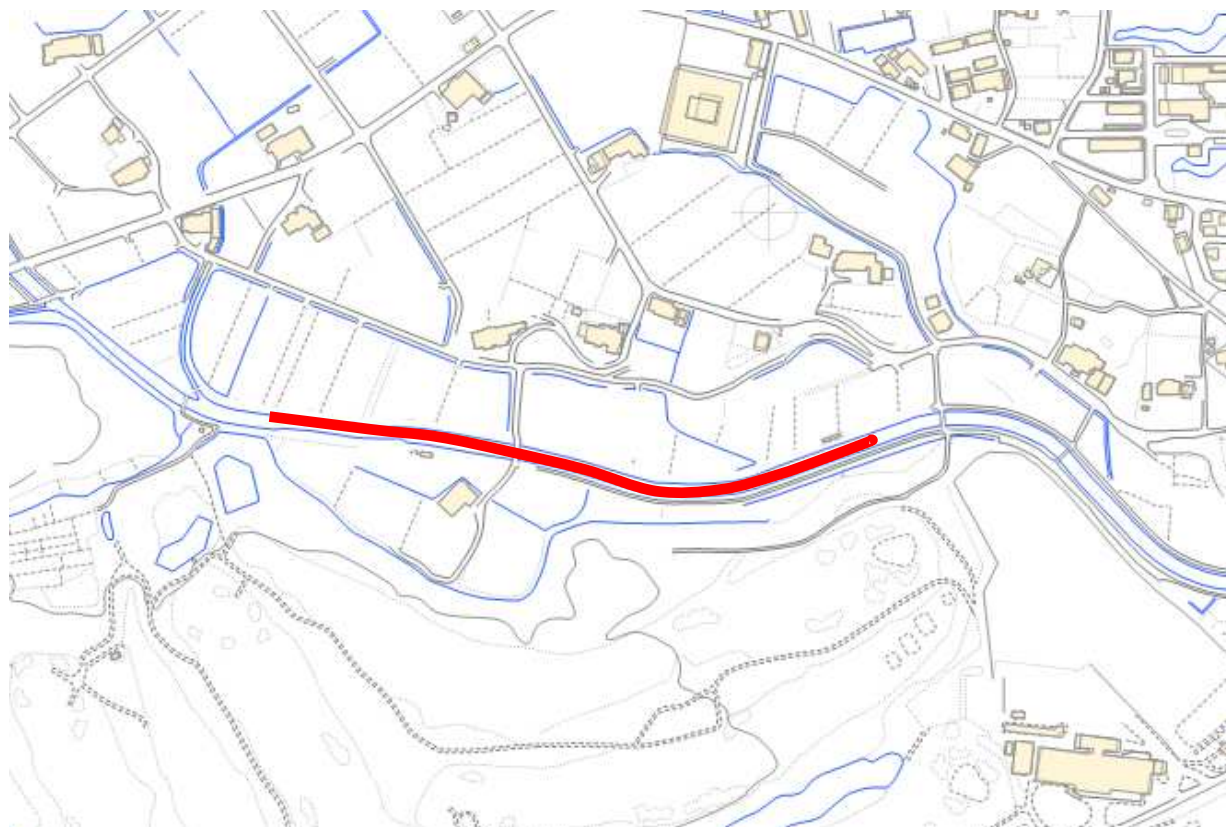
施 工 場 所 東広島市八本松町原

【戸石川】

広域図



詳細図



特 記 仕 様 書

(令和8年度 河川維持修繕工事 戸石川河川浚渫工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 履行報告
5. 官公庁等への手続き等
6. 工事中情報共有システム（発注者指定型）
7. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
8. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
9. 法定外の労災保険の付保
10. 週休2日適用工事等 週休2日
11. 建設副産物の取り扱いについて

第2章 施工条件

1. 工程
 - (1) 工事着手予定日
2. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
3. 工事用道路
 - (1) 仮設道路
4. 建設副産物
 - (1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)）

第3章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 仮設工
5. 土砂撤去
6. 概算数量方式（浚渫・排土）

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。
この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日定める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図(施工済み箇所を着色)又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

5. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

6. 工事中情報共有システム(発注者指定型)

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象(発注者指定型)である。
 - (2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
 - (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム(一般社団法人 広島県土木協会)

<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyoushouhisutemu2.html>
 - (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
 - (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
 - (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。
- この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定(広島県)」および「土木工事監督実施要領(広島県)」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定(広島県)」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準(広

島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。

- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4. 検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

7. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
 - 1) 補正方法
ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

8. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

9. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

10. 週休2日適用工事等 週休2日

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最

新版)」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

11. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知する

ものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 施工条件

1. 工程

(1) 工事着手予定日

工事着手予定日は、令和8年10月16日以降とすること

2. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

3. 工事用道路

(1) 仮設道路

安全施設	出入り口にバリケード等を設置し第三者が立ち入らないようにすること
工事後の処置	原型復旧

4. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出) （建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地

(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離
草混じり土

(名称)	有限会社広剛産業福富残土処分場1
(所在地)	東広島市福富町上戸野大井出1460-1
(運搬距離)	20.5 k m

第3章 その他

1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領「土木工事編」によるものとする。
- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当たっては、広島県制定「写真管理基準(令和7年8月)」によるものとし、納品に当たっては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかとする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 仮設工

仮設工(任意)については、事前に設置方法を施工計画書にまとめ、監督職員へ提出すること。
なお、仮設方法については、正当な理由がある場合は、請負代金額の変更対象とする。

5. 土砂撤去

土砂撤去に際しては、既設構造物に損傷を与えないよう注意して施工すること。また、既設構造物の状況について監督職員の確認を受けること。

6. 概算数量方式(浚渫・排土)

- (1) 本工事の浚渫・排土は、概略設計により算出した数量で積算を行っている。
- (2) 契約図面に基づき現地の照査を監督職員の立ち会いのもと行い、図面の作成及び数量を算出し、発注者に提出すること。
- (3) 提出した図面について発注者の承諾を受けた後、この図面に基づいて施工を行うこと。
- (4) 発注者は、承諾した図面及び数量を基に、遅滞なく変更契約を行うものとする。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
河川維持		式		1	レベル1
除草工		式		1	レベル2
堤防除草工		式		1	レベル3
除草	肩掛式(カッタ径255mm)	m2		2,700	レベル4
集草	人力	m2		2,700	レベル4
積込・荷卸	ダンプトラック(2t積級)(梱包無し)	m2		2,700	レベル4
運搬(堤防除草)	ダンプトラック(2t積級)(梱包無し)	m2		2,700	レベル4
除草処分		kg		2,710	レベル4
河川土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削	土砂	m3		2,000	レベル4
不整地運搬車	BH(クローラ型) 山積0.8/平積0.6m3	m3		2,000	レベル4
積込	土砂	m3		2,000	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
土砂運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		2,000	レベル4
残土等処分	草混じり土	m3		2,000	レベル4
仮設工		式		1	レベル2

工事数量総括表

頁0 -0002

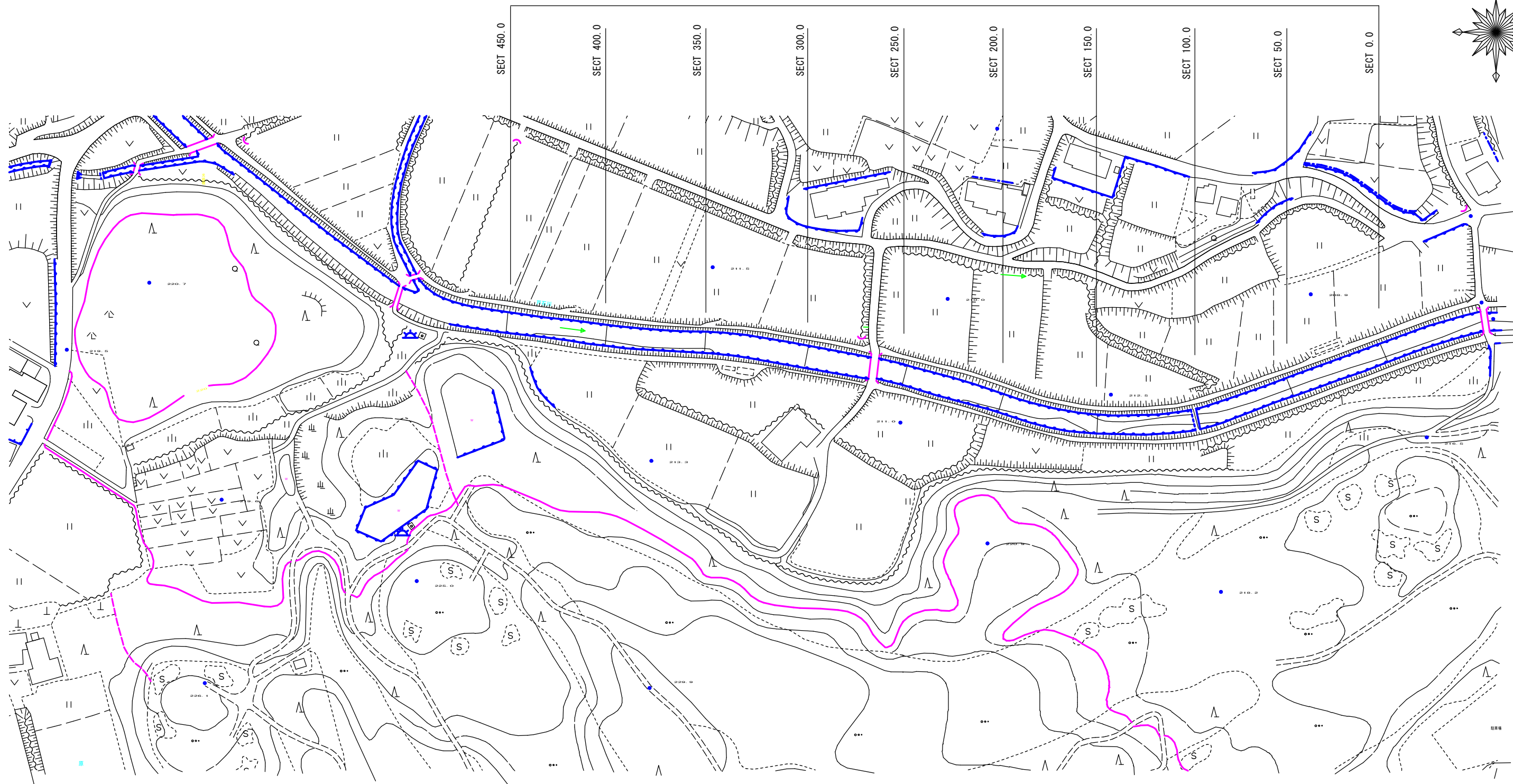
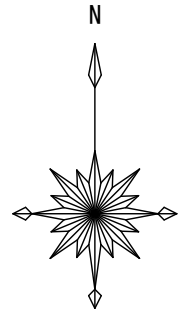
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
工事用道路設置		式		1	レベル3
工事用道路盛土	施工幅員2.5m以上4.0m未満	式		1	レベル4
購入土（再生土）		式		1	レベル4
購入土運搬		式		1	レベル4
敷砂利	全仕上り厚100mm、RC-40	式		1	レベル4
工事用道路撤去		式		1	レベル3
掘削	土砂	式		1	レベル4
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式		1	レベル4
残土等処分		式		1	レベル4
仮水路工		式		1	レベル3
大型土のう製作・設置		式		1	レベル4
暗渠排水管	波状管 600mm	式		1	レベル4
仮排水工撤去		式		1	レベル3
大型土のう撤去		式		1	レベル4
土砂等運搬		式		1	レベル4
残土処分費		式		1	レベル4
* * 直接工事費 * *					
共通仮設費率分					

工事数量総括表

頁0 -0003

[illegible]

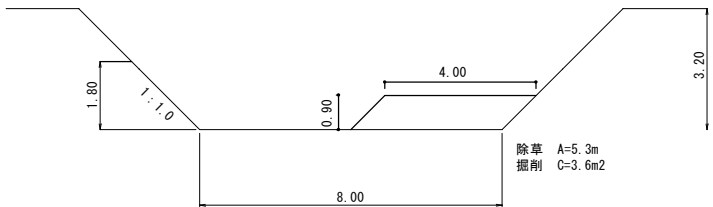
工事範囲



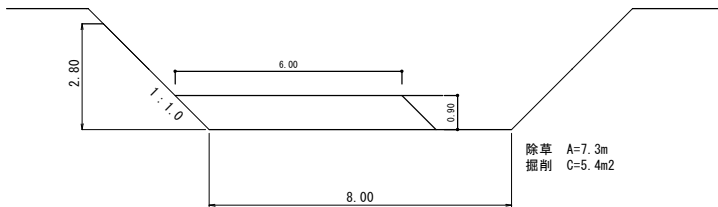
図面番号	1 / 3	縮 尺	S=1:1000
工 事 名	令和8年度 河川維持修繕事業 戸石川河川浚渫工事		
種 別	平面図		
路 線 名	戸石川		
工事箇所	東広島市八本松町原		
東広島市建設部維持課			

横断図

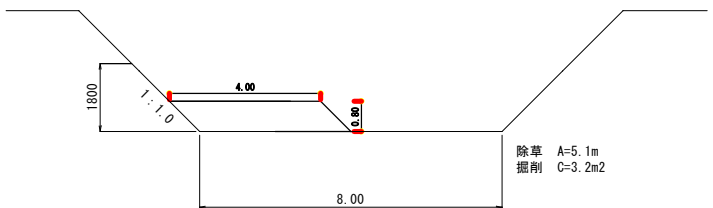
SECT 0.0



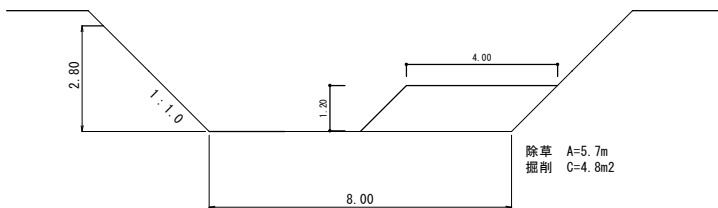
SECT 150.0



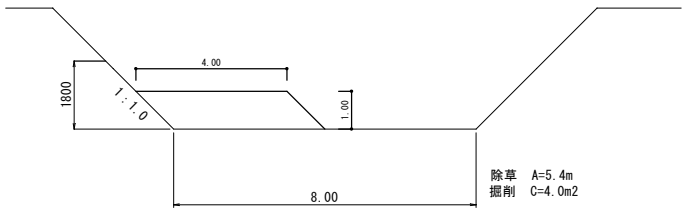
SECT 50.0



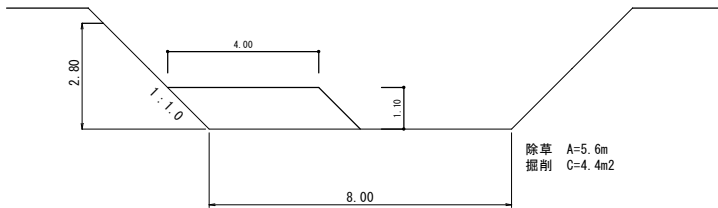
SECT 200.0



SECT 100.0



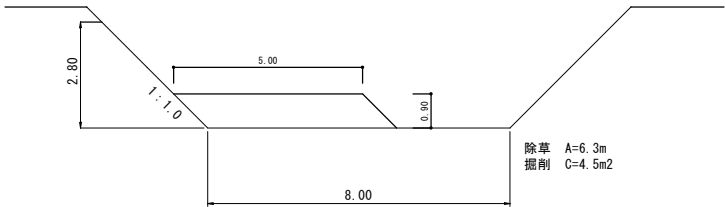
SECT 250.0



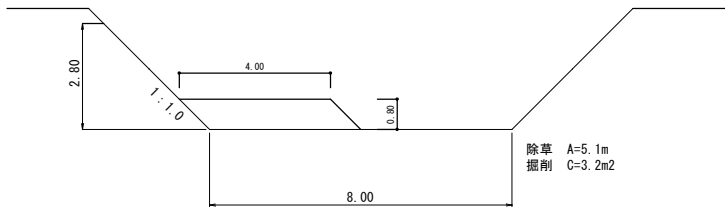
図面番号	2 / 3	縮 尺	S=1:100
工 事 名	令和8年度 河川維持修繕事業 戸石川河川浚渫工事		
種 別	横断面図		
路 線 名 河 川	戸石川		
工事箇所	東広島市八本松町原		
東広島市建設部維持課			

横断図

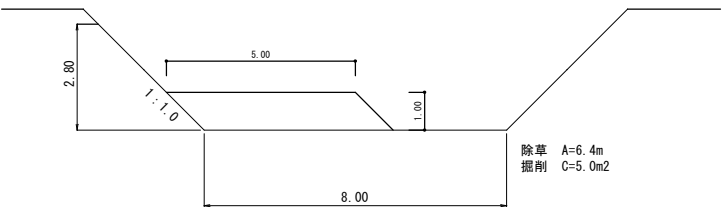
SECT 300.0



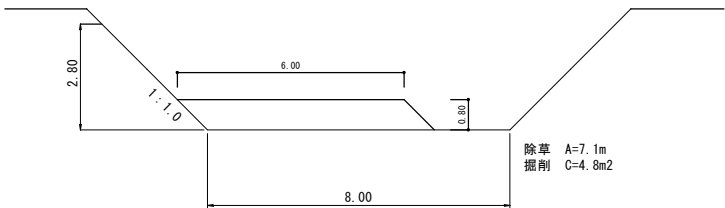
SECT 450.0



SECT 350.0



SECT 400.0



図面番号	3 / 3	縮 尺	S=1:100
工 事 名	令和8年度 河川維持修繕事業 戸石川河川浸淫工事		
種 別	横断図		
路 線 名	戸石川		
工事箇所	東広島市八本松町原		
東広島市建設部維持課			

参 考 図 書

工事名称 ： 令和 8 年度 河川維持修繕事業
戸石川河川浚渫工事

<注意事項>

- 1 本工事は、数量公開の対象工事です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。
数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。
- 3 その他
 - ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

草混じり土

施工箇所	施設の名称	所在地	運搬距離
戸石川	有限会社広剛産業福富残土処分場 1	東広島市福富町上戸野大井出 1460-1	20.5km

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 44 東広島市 00-08.06.01(0)		凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	01 河川工事 00 補正なし 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
河川維持					Y1B01 レベル1
除草工	1	式			Y1B0102 レベル2
堤防除草工	1	式			Y1B010201 レベル3
除草 肩掛式(カッタ径255mm)	1	式			Y1B01020102 レベル4
除草_堤防除草 肩掛式(カッタ径255mm) 飛散防止措置無し	2,700	m2			SPK25040174 00
集草 人力	2,700	m2			単第0 -0001 表 Y1B01020103 レベル4
集草_堤防除草 人力	2,700	m2			SPK25040175 00
積込・荷卸 ダンプトラック(2t積級)(梱包無し)	2,700	m2			単第0 -0002 表 Y1B01020105 レベル4
	2,700	m2			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
積込・荷卸_堤防除草 ダンプトラック(2t積級)(梱包無し)	2,700	m2			SPK25040177 00 単第0 -0003 表
運搬(堤防除草) ダンプトラック(2t積級)(梱包無し)	2,700	m2			Y1B01020106レベル4
運搬(堤防除草) ダンプトラック(2t積級) 梱包無し DID区間無し 運搬距離13.0km以下(11.0km超)	2,700	m2			SPK25040178 00 単第0 -0004 表
除草処分	2,710	kg			Y1B01020107レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
草処分費 広島中央エコパーク	2,710	kg			F000000100 00
河川土工	1	式			Y2999 レベル2
掘削工	1	式			Y3999 レベル3
掘削 土砂	2,000	m3			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	2,000	m3			SPK25040001 00 単第0 -0005 表
不整地運搬車 BH(クローラ型) 山積0.8/平積0.6m3	2,000	m3			Y4999 レベル4
不整地運搬車 5,000m3未満 BH(クローラ型) 山積0.8/平積0.6m3	2,000	m3			S1010005 00 単第0 -0006 表
積込 土砂	2,000	m3			Y4999 レベル4
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	2,000	m3			SPK25040007 00 単第0 -0008 表
残土処理工	1	式			Y3999 レベル3
土砂運搬 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	2,000	m3			Y4999 レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離22.5km以下(15.5km超)	2,000	m3			SPK25040002 00 単第0 -0009 表
残土等処分 草混じり土	2,000	m3			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
					#0041
残土処分費 草混じり土 有限会社広剛産業福富残土処分場2	2,000	m3			F000000400 00
仮設工					Y1B0112 レベル2
	1	式			
工事用道路設置					Y1B011201 レベル3
	1	式			
工事用道路盛土 施工幅員2.5m以上4.0m未満					Y1B01120101 レベル4
	60	m3			
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m以上4.0m未満					SPK25040004 00
	60	m3			単第0 -0010 表
購入土(再生土)					Y4999 レベル4
	90	m3			
購入土 再生土 株式会社オハラリサイクルセンター					F000000300 00
	90	m3			
購入土運搬					Y4999 レベル4
	70	m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)	70	m3			SPK25040002 00 単第0 -0011 表
敷砂利 全仕上り厚100mm、RC-40	30	m2			Y1B01120103レベル4
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40	30	m2			SPK25040236 00 単第0 -0012 表
工事用道路撤去	1	式			Y3999 レベル3
掘削 土砂	70	m3			Y4999 レベル4
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	70	m3			SPK25040001 00 単第0 -0005 表
土砂等運搬 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	70	m3			Y4999 レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)	70	m3			SPK25040002 00 単第0 -0011 表
残土等処分	70	m3			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
					#0041
残土処分費 株式会社オハラリサイクルセンター	70	m3			F000000200 00
仮水路工	1	式			Y1B011208 レベル3
大型土のう製作・設置	31	袋			Y1B01120111レベル4
大型土のう製作・設置(BH設置)	31	袋			SHD10003 00 単第0 -0013 表
購入土 再生土 株式会社オハラリサイクルセンター	31	m3			F000000300 00
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)	26	m3			SPK25040002 00 単第0 -0011 表
暗渠排水管 波状管 600mm	450	m			Y1B01120803レベル4
暗渠排水管 据付・撤去 波状管 450～600mm シングル 合成樹脂排水材 呼び径600mm	450	m			SPK25040093 00 単第0 -0015 表

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮排水工撤去					Y3999 レベル3
	1	式			
大型土のう撤去					Y4999 レベル4
	31	袋			
大型土のう撤去 設置作業半径_6m以下 設置面高さ_-3m H 2m					S1050057 00
	31	袋			単第0 -0016 表
土砂等運搬					Y4999 レベル4
	31	m3			
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)					SPK25040002 00
	26	m3			単第0 -0011 表
残土処分費					Y4999 レベル4
	26	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 株式会社オハラリサイクルセンター					F000000200 00
	26	m3			
* * 直接工事費 * *					
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分					前払補正率...
計算情報..... 対象額..... 率.....					
契約保証費					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

本工事費 内訳表

頁0 -0010

[illegible]

施工単価表

除草 堤防除草

SPK25040174

単第0 -0001 表

肩掛式(カッタ径255mm) 飛散防止措置無し

機械構成比: 0.90% 労務構成比: 99.10% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 41.27300

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
草刈機 肩掛式 カッタ径 φ 255mm	0.88%		草刈機 肩掛式 カッタ径 φ 255mm		MTPC00114 MTPT00114
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	89.16%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.06%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 肩掛式(カッタ径255mm) -(全ての費用)			C=2 飛散防止措置無し		

施工単価表

集草_堤防除草
人力

SPK25040175

単第0 -0002 表

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 24.22400

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	94.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.63%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
積算単価			積算単価		EP001
A=4 人力			C=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0013

積込・荷卸_堤防除草

SPK25040177

單第0 -0003 表

ダンプトラック(2t積級)(梱包無し)

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 勞務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

15.24000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

運搬(堤防除草)

SPK25040178

単第0 -0004 表

DID区間無し 運搬距離13.0km以下(11.0km超)

1

m2

当り

機械構成比: 24.65%

労務構成比: 65.74%

材料構成比: 9.61%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 6.53380

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.65%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	65.74%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 ダンプトラック(2t積級) C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=2 梱包無し D=8 運搬距離13.0km以下(11.0km超)		

施工単価表

掘削
土砂 オープンカット 押土無し
機械構成比: 42.72% 労務構成比: 37.91% 材料構成比: 19.37% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 331.59000

SPK25040001 障害無し 5,000m3未満

単第0 -0005 表 1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	42.72%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	37.91%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	19.37%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

施工単価表

頁0 -0016

不整地運搬車
5,000m³未満

S1010005

單第0 -0006 表

BH(クローラ型) 山積0.8/平積0.6m3

100

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

機-28_不整地運搬車運転
クローラ型 ダンプ 全旋回式 6~7t積

S9021

排出ガス対策型2014年規制

單第0 -0007 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

積込(ルーズ)
土砂
機械構成比: 42.39% 労務構成比: 38.74% 材料構成比: 18.87% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040007
土量50,000m3未満

単第0 -0008 表
標準単価: 1 m3 当り
240.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	42.39%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00153 MTPT00153
運転手(特殊)	38.74%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	18.87%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=1 土量50,000m3未満		

施工単価表

頁0 -0019

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0009 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離22.5km以下(15.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 44.67% 労務構成比:

40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,742.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=45 距離22.5km以下(15.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

路体(築堤)盛土
施工幅員2.5m以上4.0m未満

SPK25040004

単第0 -0010 表

1
m3 当り
標準単価： 857.60000

機械構成比： 15.30% 労務構成比： 76.16% 材料構成比： 8.54% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	8.01%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	7.29%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	67.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.88%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.54%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 施工幅員2.5m以上4.0m未満					

施工単価表

土砂等運搬

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 44.67%

SPK25040002

DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)

労務構成比: 40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0011 表

1

標準単価:

m3 当り

1,050.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=16 距離5.5km以下(4.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0022

下層路盤(歩道部)

SPK25040236

単第0 -0012 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.00%

労務構成比:

75.15%

材料構成比:

19.85%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

857.31000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3	2.99%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3		MTPC00169 MTPT00169
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.78%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	27.03%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	15.84%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.70%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.01%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40～0mm	17.77%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00008 TTPT00352

施工単価表

頁0 -0023

下層路盤(歩道部)

全仕上り厚100mm 1層施工

機械構成比: 5.00%

労務構成比: 75.15%

材料構成比: 19.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 857.31000

SPK25040236

単第0 -0012 表

RC-40

1

m2

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2 ~ 4KL積載車給油	1.99%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm) / 1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm) : 100.000(mm)					

施工単価表

大型土のう製作・設置(BH設置)

SHD10003

単第0 -0013 表

頁0 -0024

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.294	人			1*0.294
特殊作業員	0.294	人			1*0.294
普通作業員	0.294	人			1*0.294
耐候性大型土のう(2.0t用) 丸型,径110cm×長110cm 短期仮設対応(1年),令和5年改定基準適合品	10.000	枚			
機-28_バックホウ運転(賃料) C付2.9t吊_山積0.45m3_後方超小型旋回型	0.294	日			単第0-0014 表
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=4 耐候性(短期)大型土のう(R5改定基準適合品)			B=1 土砂の計上なし		

施工単価表

頁0 -0025

機-28_バックホウ運転(賃料)
C付2.9t吊 山積0.45m3 後方超小型旋回型

S9035

單第0 -0014 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

暗渠排水管

SPK25040093

単第0 -0015 表

据付・撤去 波状管 450～600mm

シングル 合成樹脂排水材 呼び径600mm

1 m 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 6.62% 材料構成比: 93.38% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 14,546.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	4.71%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
合成樹脂排水材(高密度ポリエチレン管) <シングル構造>内面波状管(有孔・無孔) 呼び径600mm	93.38%		暗渠排水管 波状管 呼び径500mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造)		TTPCD0276 TTPT00192
積算単価			積算単価		E9999
A=3 据付・撤去 C=3 450～600mm F=1 継手材料費要 H=0 現場の状況による材料損料率の率乗算			B=3 波状管 D=46 シングル 合成樹脂排水材 呼び径600mm G=3 期間3～6ヶ月未満(損料率0.3) I=1 -(全ての費用)		
【管材料単価】					
管材料単価(円) * (材料損料率 + (材料損料率 * 現場状況による材料損料率の率乗算))					

施工単価表

頁0 -0028

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

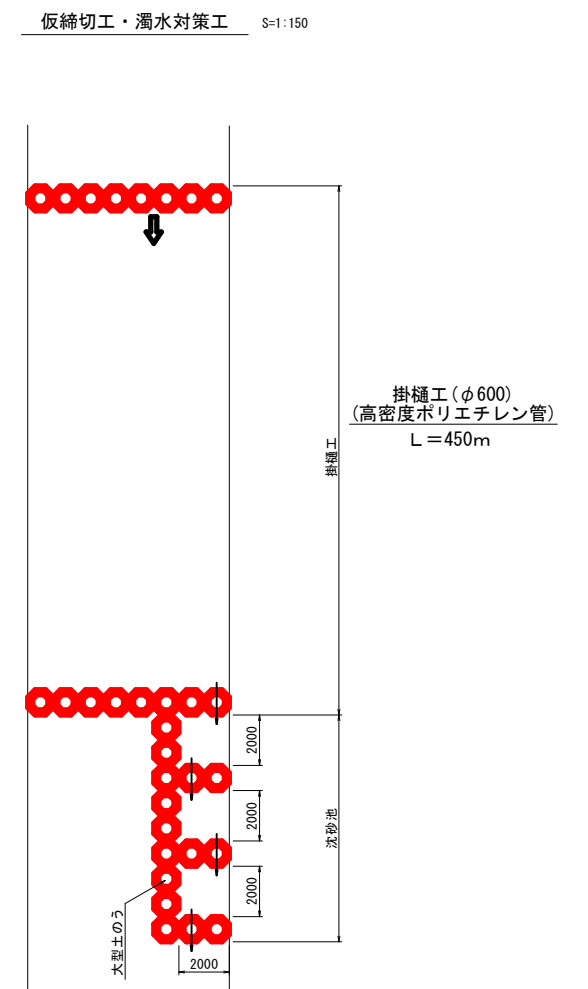
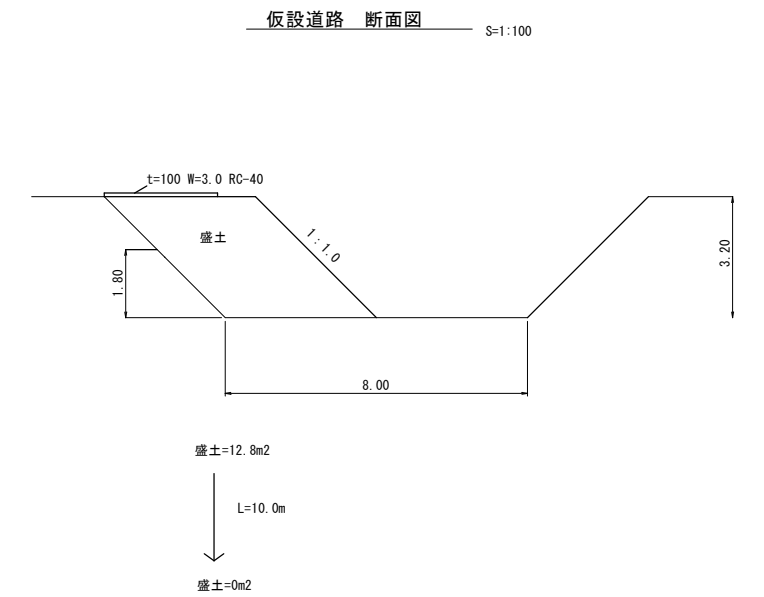
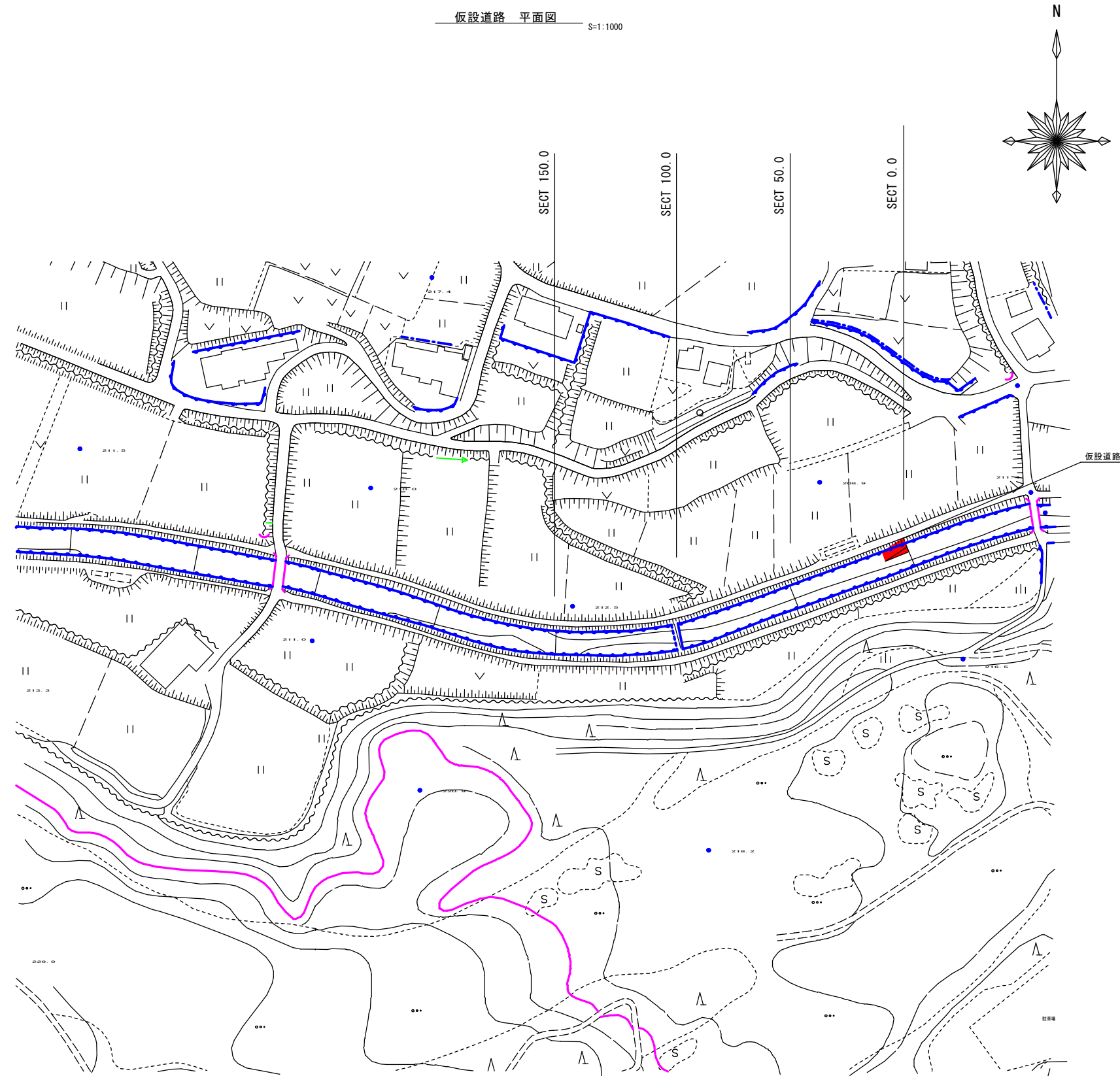
S9035

單第0 -0017 表

1 日 当り

[illegible]

参考図



参考図		
図面番号	縮 尺	図 示
工 事 名	令和8年度 河川維持修繕事業 戸石川河川浚渫工事	
種 別	仮設図	
路 線 名	戸石川	
工事箇所	東広島市八本松町原	
東広島市建設部維持課		

数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	計算過程 の数値	設計計上数値	摘 要
土工							
	掘削工			m ³	1,975.0	2000	
	土砂運搬	不整地運搬車		m ³	1,975.0	2000	
	積込(ルーズ)			m ³	1,975.0	2000	
	残土処理工			m ³	1,975.0	2000	
除草							
	除草			m2	2,705.0	2700	
	処分費			kg	2,705.0	2710	
仮設工							
	工事用道路 (設置)	盛土		m ³	64.0	60	
		購入土(再生土)		m ³	85.3	90	
		購入土 運搬		m ³	71.1	70	
		碎石(RC-40)		m2	30.0	30	
	工事用道路 (撤去)	掘削		m ³	71.1	70	
		碎石(RC-40)		m ³	3.0		
		残土		m ³	74.1	70	
	架橋工	架橋工 φ 600,高密度ポリエチレン管		m	450.0	450	
		大型土のう製作・設置		袋	31.0	31	
		大型土のう撤去		袋	31.0	31	
		購入土(再生土)		m ³	31.0	31	
		残土処理		m ³	25.8	26	

[illegible]

計第 一 表 仮設工 集 計 表				
種 別	規 格 ・ 仕 様	単位	数 量	摘 要
工事用道路 (設置)	盛土	m3	64.0	
	購入土(再生土)	m3	85.3	$V=71.1 \times 1.2=85.3\text{m}^3$
	購入土 運搬	m3	71.1	$V=64.0/0.9=71.1\text{m}^3$
	碎石(RC-40)	m2	30.0	$t=10\text{cm}$
工事用道路 (撤去)	掘削	m3	71.1	
	碎石(RC-40)	m3	3.0	
	残土	m3	74.1	
架樋工				
	架樋工 φ 600,高密度ポリエチレン管	m	450.0	
	大型土のう設置撤去	袋	31.0	
	購入土(再生土)	m3	31.0	単価表による
	購入土 運搬	m3	25.8	$31.0/1.2=25.8$
	残土	m3	25.8	

[illegible]